

クリスマスとは何か



子供のころ、高度経済成長が始まる時代、日本の田舎の家でもクリスマスなどというお祭りが家庭の中に位置づけられ、サンタクロースが立ち寄るようになっていきました。家には煙突がありましたが、五右衛門ぶろの煙突で、そこから入ったところで、こんな狭い火の焚口から出てくるすべはないと思っていましたから、だれか大人がプレゼントをくれるのならそれはそれでよいと冷静なまなざしで考えていた子供だったと思います。

そんなある年に、エポック社の野球盤が父の手から私にもたらされ、とても興奮したのを覚えています。時に、学習大辞典なるものも、いつのまにか、机の上に置かれていたこともありましたが、そちらはそちらで、「野球」の項目の中のカーブやシュートの握りでは、毎日研究する手立てにはなったので、役に立ったといえるプレゼントでありました。

自分の子供たちには、主に任天堂のゲームが主流で、その残骸が押し入れの中に眠っています。「動物の森」や「ポケモン」「デジモン」などいろいろなソフトがありました。攻略本も必要でした。

子供へのプレゼントはいつの間にかなくなりましたが、今年こそ、妻や自分に何かプレゼントがしたいと思っています。